

# 前回委員意見に対する考え方について

	主な意見	ご意見に対する本市の回答及び考え方
1	<p>(令和2年度上半期 区役所・相談支援室の取組み状況について)</p> <p>・コロナの影響が出ているという報告がありましたが、おそらく下半期には様々なツール等が開発されていますので、もう少し実績が多くなっていると思います。</p>	<p>・議題2「令和2年度 区役所・相談支援室の取組み状況について」で説明。</p>
2	<p>(医療施設等アンケート調査の実施について)</p> <p>・入退院支援カンファレンスの実施状況について、オンラインが可能であったり、その他コロナ禍でも実施できるための工夫をされている状況もあわせて調査できれば良いと感じました。</p>	<p>・議題4「医療施設等アンケート調査の実施について」で説明。</p>
3	<p>(在宅医療・介護連携推進事業の手引きの改訂について)</p> <p>・平時はこれでいいが、災害時にどのように事業継続していくかを平時から考えておく必要がある。大阪市として、どういった対応ができるかある程度方向性を示していただきたい。</p>	<p>・令和2年9月作成された厚生労働省『在宅医療・介護連携推進事業の手引き』の改訂にあわせて、令和3年3月に本市の事業実施マニュアル（区向け）及び事業手引き書（コーディネーター向け）を作成し、平時の取組みの推進を図っているところです。災害時においても、多職種が協働して支援を行うことが重要であるため、今後は国の動向や本市の現状、関係団体等からのご意見を伺いながら、関係事業とも連携し、災害時等の対応の方向性についても検討を進める必要があると考える。</p>